

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会
平成 29 年度第 8 回理事会

開催日時： 平成 30 年 1 月 28 日（日）15 時 00 分～17 時 50 分

開催場所： 日本臨床検査自動化学会 事務局

出席者： 康東天理事長、横田浩充副理事長、萱場広之理事、澤部祐司理事、
 ▽谷直人理事、通山薫理事、日高洋理事、白井秀明監事、
 村上正巳監事

欠席者： 萩原三千男理事、和田隆志理事、栢森裕三監事

報告 1. 理事長報告

- (1) 康東天理事長より、新年の挨拶と第 8 回理事会にご参集頂いたことへの謝辞があった。資料 1 に基づき市民公開講座(12/5 開催)の報告があった。経費負担として本学会から 6 万円拠出した旨、報告があった。
- (2) 資料 2 に基づき日本臨床検査薬協会との検査試薬採用前の検討（以下、採用前検討）について協議した旨、報告があった。採用前の試薬の提供は利益供与になるため不適、体外診断用医薬品等の臨床研究におけるガイドラインを遵守、採用前検討で取得したデータを論文投稿・学会発表に使用できない。学術発表する予定がある場合は倫理審査、共同研究・受託研究契約を締結し、実施する必要があるとの日本臨床検査薬協会の立場が確認された。
- (3) 本会 50 回大会記念交換会で他学会の理事長から祝辞の挨拶を依頼することが提案された。

報告 2. 総務報告

横田副理事長より、下記が報告された。

- (1) 1 月 16 日日本臨床検査薬協会賀詞交換会について、状況報告があった。
- (2) 資料 3 に基づき著者抄録使用料の引き下げ(科学技術振興機構)が行われる旨、報告があった。
- (3) 第 68 回日本電気泳動学会シンポジウムの開催(資料 4)について HP に掲載した旨、報告があった。
- (4) 新会員システム(G-system)の導入に伴い、会員証発行機を購入(439,344 円)し、2 月 1 日以降、会員証(資料 5, 6)を発送予定である旨、報告があった。これにより事務負担の軽減を図る。
- (5) 遺伝子委員会補冊についてアマゾンでの売買契約(資料 7)を行った旨、報告があった。
- (6) 資料 8 に基づき第 49 回大会での託児所利用状況について報告があった。6 名の利用状況であり、費用対効果を考慮すると次年度の実施については今後の検討課題と報告があった。

報告 3. その他報告

- (1) 康理事長から、第 49 回大会収支について、支出が減り、黒字であった旨、報告があった。
- (2) 康理事長から、理事の担当地域の活動について新年度から理事から報告を

いただきたいとの要請があった。

議題 1. 共催シンポジウムについて

(1) 第 65 回日本臨床検査医学会学術集会

資料 9 について康理事長から学術集会長の村田先生から共催シンポジウムの依頼があった旨、説明があり、澤部理事をコーディネーターとして科学技術委員会で企画することとした。なお、3 年シリーズものを企画するのがよいと意見があった。

(2) 第 58 回日本臨床化学学会年次学術集会

資料 10 について横田副理事長から共催シンポジウムの依頼(テーマ;血清蛋白検査の矛盾と課題)があった旨、説明があり、協議した結果、承認された。

議題 2. 第 50 回大会関連

(1) 資料 11 (スケジュール表)、資料 12 (大会プログラム)、資料 13 (一般演題分類・専門分野) について、通山理事から第 50 回大会の準備状況について説明があった。特別講演、教育講演、RCPC、技術セミナー等の内容が提案され、承認された。50 周年記念となるための行事として、過去の自動分析機器展示、写真の掲示、JACLaS シンポジウムを企画する提案があった。なお、JACLaS との共催企画として、第 50 回大会では講演を企画して、3 日目に設定する。資料 13 一般演題分類の文言修正 (27 その他 (科学→化学)、36 POCT (在宅調査→在宅医療)) を確認した。座長の選考については評議員リストから抽出、6 月中旬に決定する。この準備として、各地区担当理事から座長 (委員会委員の若手技師) を 2 月中に通山理事に推薦することとした。

(2) 一般演題共同演者への臨時会費請求について

事務局より提出された資料 14 (臨時会費請求手順) について協議した。非会員からの臨時会費の徴収について、事務手続きがかなり煩雑であることを確認した。臨時会費請求は休止とすることが承認された。

(3) 賛助会員への特典について

横田副理事長から賛助会員への特典について検討すべきとの提案があり、優遇についてたたき台 (ランチョンセミナー申し込みの際の会場場所の優遇、意見交換会 1 名招待など) を作成し、次回議論することとした。

議題 3. 新たな委員会 (生理検査領域) の立ち上げについて

康理事長から生理検査委員会 (仮称) の立ち上げについて提案があった。これにより生理検査機器の展示、会員増を目指す。各地域の担当理事から委員長、委員候補者をリストアップしていただきたいと依頼がなされ、次回、議論することとした。委員・委員長候補者は、1 年かけて年度末までに決定したい。なお、委員長として複数の先生が候補として上がった。

議題 4. 倫理・COI 委員会より

事務局より、資料 15 の COI 自己申告書の提出について、役員 (理事長、副理事長、理事、監事)、大会長・例会長 (今期・次期)、学術委員会に就任している会員を対象に、2018 年の COI 自己申告書提出をお願いする旨、確認し、承認された。

議題 5. 編集委員会より

萱場理事から資料 16 の投稿規定改定 (案) について変更点が説明された。論文

投稿に際しての COI 申告書の提出について追記した点が大きな変更点である。なお、研究倫理に関する項(投稿規定 8)について、疫学研究に関する倫理指針、臨床研究に関する倫理指針、日本臨床検査医学会の指針変更があり、臨床病理 2018 年 1 月号に掲載されるため、この指針に合わせ修正することとした。

議題 6. POC 委員会より

〆谷理事から資料 17 について、第 65 回 POC セミナー開催概要について説明があり、承認された。

議題 7. 評議員の推薦について

日高理事から資料 19 について評議員の推薦があった。近畿地区から近畿大学の中江技師長が推薦され、承認された。

康理事長から、引き続き各地区理事から評議員の推薦をいただきたい旨、要請があった。また、来年の春期セミナー大会長の札幌医大高橋先生、再来年の春期セミナー大会長の琉球大の前田先生を評議員に推薦する提案があり、承認された。

議題 8. 学術委員会より

通山理事から資料 20-27 について、微生物検査・感染症委員会より 7 名の委員、血液委員会から1名の委員申請があり、承認された。

議題 9. 会計より

澤部理事から、税務署から指摘があり H28 年度の消費税修正申告と重加算税と延滞税、H29 年度消費税中間納付を行うことになった旨、報告があり、資料 28 を確認、承認された。

議題 10. その他

(1) 転載許諾申請について

資料 29-33 の医学書院1件、富士レビオ 4 件の転載許諾申請を確認し、承認された。なお、責任著者の承諾を必要とすることとした。

(2) 再来年の春期セミナーの大会長について

琉球大の前田先生が推薦され、承認された。

(3) ジーイングスシステム (G-system) の確認

本会 HP からの入会申し込み、更更新手続きについて G-system の利用方法、情報更新画面、会員ログイン画面、基本情報編集画面、学会費支払い手続き画面を確認した。不具合について修正を G-system 社に依頼した。修正後、理事は使用確認を行うこととした。

以上

平成 30 年 4 月 17 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長

康東天 (康)

議事録署名人
(出席監事)

村上正巳 

議事録署名人
(出席監事)

白井秀明 